

# ご あ い さ つ

国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」が、2020 年（令和 2 年）1 月から本格始動しています。2020 年（令和 2 年）10 月には、2050 年（令和 32 年）までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「2050 年カーボンニュートラル」をめざすことを国が宣言し、脱炭素化の取組を進めています。

本市では、「第二次福山市環境基本計画」において、温室効果ガスの排出を抑制するため、再生可能エネルギーの地産地消を推進しています。その取組として、本市などが出資した地域新電力会社「福山未来エナジー株式会社」が、2019 年（平成 31 年）4 月 1 日から、福山リサイクル発電所等の低炭素な電力を調達し、市内をはじめとする備後圏域の公共施設に供給しており、圏域全体での低炭素型のまちづくりの推進に取り組んでいます。

また、2024 年度（令和 6 年度）に供用開始を予定している新たなごみ処理施設については、本年 9 月に土木・建築工事に着工しました。本施設は、府中市と神石高原町との広域処理やエネルギーと資源の有効活用などを行うことで、新たな循環型社会の構築をめざすものであります。

今後も、市民・事業者・行政など多様な主体が一体となり、2018 年度（平成 30 年度）に策定した「第二次福山市環境基本計画」のめざす環境像「みんなで創り 未来につなぐ 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち 福山～持続可能な社会の実現をめざして～」の実現に向けて取り組んでまいります。

本書は、「第二次福山市環境基本計画」の年次報告書として取りまとめたものです。

この冊子が、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築をめざすに当たり、皆様にとって環境問題への理解と関心を深め、具体的行動を踏み出すための一助となれば幸いに存じます。

2021 年（令和 3 年）11 月  
福山市長 枝広 直幹

